

福島地区本部【りんご防除情報 9月号】

ふ未福営発第461号
令和6年8月23日

標記の件につきまして、9月のりんご防除情報を下記の内容にてお知らせいたします。今後の天候に十分注意し予防散布を徹底してください。
なお、収穫中の園地と隣接する園地では、十分に注意して散布してください。

※ 防除内容の確認を行い作成しておりますが、皆様におかれましても防除の際には、防除暦を参照するとともに使用農薬に記載されている希釈倍数等の内容を必ず確認してください。

(防除暦 57頁参照) ※高温が続く場合は日焼け軽減対策として『セリファームブルーS(1,000倍)』の継続使用をお勧めします。

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100ℓ当り)		SS散布量	
	※炭そ病・輪紋病の被害果は二次感染の原因となるので、見つけしだい摘除し適切に処分する。					
14	9/5頃	炭そ病・斑点落葉病・輪紋病	1. 展着剤	600倍	(165g)	500ℓ
		褐斑病・すす点・すす斑病 (シンクイムシ類・キンモンホソガ)	2. オーソサイド水和剤80 ※隣接園に注意して散布する。			
1.シンクイムシ類とキンモンホソガの防除対策として、フェニックスフロアブル 4,000倍(25cc)も使用する。 ただし、養蚕地帯ではフェニックスフロアブルを使用しないで下さい。						
追加散布	9/15頃	炭そ病・斑点落葉病・輪紋病	1. 展着剤	600倍	(165g)	500ℓ
		褐斑病・すす点・すす斑病 【病害対策】	2. オーソサイド水和剤80 ※隣接園に注意して散布する。			
1. 早生ふじやシナノスイートなど収穫が迫っている品種には、ベルコート水和剤1,000倍(100g)を使用しても構いません。 ただし、炭そ病に効果はないのでご注意ください。 2. 褐斑病が見られる場合や発生が懸念される園では、『ユニックス顆粒水和剤 2,000倍(50g)(収穫前14日)』も使用する。 ただし、ユニックス顆粒水和剤は収穫前14日の規制があるので注意して使用する。						

【注意】オーソサイド水和剤はキャプタン剤で年6回までの使用回数になります。キャプタン剤はオーソサイド水和剤・オキシラン水和剤・ダイパワー水和剤になるので、年間使用回数にご注意ください。
また、ベルコート水和剤はイミノクタジン剤で年3回までの使用回数になります。イミノクタジン剤はベルコート水和剤・ダイパワー水和剤になるので、年間使用回数にご注意ください。

【りんご落果防止剤の使用法】※昨年に引き続き高温対策としてヒオモン水溶剤を推奨します。
○使用薬剤:ヒオモン水溶剤 2,000倍(50g) 収穫前使用日数21日～4日前までに1回散布。展着剤不要。
○対象品種:シナノスイート・陽光・王林・シナノゴールド(JA共選品種)
○散布時期:9月20日以降 ※散布の際には隣接園に飛散しないようご注意ください。
●「こうとく」には1,500倍(65g)での使用をお勧めします。

ご不明な点がございましたら各地区指導員へお問い合わせください。